かんぽう
ま
No.358
今井公民館
館報編集委員会
電話 59-2001
FAX 59-1004

冬の風物詩 今井のスケート

校庭リンクと下駄スケート

昭和20年代には、校庭のど真ん中に大きなリンクが作られていました。各家庭から土のう代わりに米俵を寄付していただき、初冬の一日、PTA作業によりリンクが作られました。

校庭と松本養護学校の間にある用水路から校庭に水を引き入れます。毎日夕方行われる製氷や水の補給など、先生方とPTA当番による大変な作業でした。

昭和45年頃

当時のスケートは「下駄スケート」。専用の下駄に刃を取り付けたものです。寒い中、素足に足袋を履き、凍える手で緩まないように履くのは、まだ力の弱い子どもにとっては至難の業です。当時はまだ戦後の経済復興途上。現在のようにゲーム機やスマホもなく、これといった娯楽や楽しみもない時代。授業はもちろん、放課後は暗くなるまで大きなリンクで、児童は嬉々として思う存分夢中でスケートを楽しんでいました。温暖化の影響を受け、製氷が難しくなる等変化する社会情勢の中で、スケートは現在の中庭で行われるようになっています。

みんなで協力して
スケートリンクを作るぞ！
（土のうを積んでいる様子）

外周・内周

転んで上達！

昭和40年～50年代頃

松本市民スケート大会
常に今井はトップ☆

現在の子どもたち
未来のオリンピック選手!?

平成19年頃

中庭のスケートリンク

初心者向け スマホ活用講座

1月19日に福祉ひろばで第1回目の講座が開かれました。南西部包括支援センターの岡田さんによる「スマホの基礎」です。コロナ対策がされた中で12名の参加者が、熱心に話を聞きました。講師の先生は分かりやすい資料を用意し、説明してくれました。

スマホは電話の通話料とインターネットの通信料がかかり、使用頻度によって料金の単位が大まかに設定されています。配布された資料に、持っているスマホの料金プランや実際の使用料を記入してみました。どのくらい電話をするか、インターネットを利用するかによって、料金プランの変更や見直しができます。そのためにもIDとパスワードは忘れないようにして、自分で使用料や料金を調べられるようにしておきましょうとのことでした。

2回目は3月2日に公民館で行われました。NPO法人信州ソフトウエア協会の嶋田さん、宮本さんが、Wi-Fiと二次元コードについて教えてくれました。また、ボランティアの人もいて、参加者一人一人に丁寧に対応してくれました。実際に二次元コードを読んで操作してみたところ、とても簡単にできて便利だと感じました。最近は、広報にも二次元コードがあり、様々なホームページにアクセスできるようになっています。また、アプリの「レンズ」を使ってカメラで読み取ると、その商品についての説明など、瞬時に教えてくれました。これを使えば、花や鳥などの名前を知ることができます。また、オンラインで自己管理しながら、運動や健康づくりに取り組めるアプリケーションも紹介してもらい、「脳を鍛えるゲーム」に挑戦してみました。

私はスマホを持っていないので、勉強のつもりで参加しました。この講座に参加して、スマホはおもしろそうだから、私も使ってみようかなと思いました。

つぶやき No.286

「変化の時代に」

稲垣　雅洋（下新田）

令和3年5月、15年間営業してきた飲食店を閉店し、平成29年から始めたワイナリー経営に舵を切りました。畑作業からワイン作り、夜の飲食店営業と忙しく、小学生の娘達と接する時間もなかなか取れませんでした。飲食店を辞めた事で娘達と過ごす時間が増え、常に前だけを見て生きている姿に、気付かされる事や学ぶ事が多く日々考えさせられます。

「まちがいはダイヤモンド！」今年小学1年生になった次女の担任の先生の教えです。子ども達が生まれてからのこの10年、世の中はもの凄い速さで変化してきました。SNSにAI、VR、仮想通貨、メタバースにNFT、SDGs、数年もすれば自動運転も実装されるでしょう。今までの常識は非・常識となり、正解を求める教育から課題設定、過程を重視し自らが思考し行動できる人へ。子ども達は逞しく、コロナで制限される中でも自ら企画し、可能な範囲で友達と遊び、動画で手話を学び始め、オンライン授業もあっという間に適応します。変化を恐れず柔軟に自由に。間違えてもやり続ける限りいつかは必ず成功するはずだから。

〝今井のたからを未来の子どもの誇りに〟 ～今井に育つ喜びを伝え合う～

今井小学校 開校150周年に向けて

昭和59年9月7日撮影

今井小学校は令和5年に開校150周年を迎えます。

この節目を祝うとともに今井の未来を担う子どもたちのための事業実施に向けて、昨年の11月に保護者、学校、地域（町会）が一体となった記念事業実行委員会が発足しました。

公民館報でも随時、事業の状況をお知らせしますので、地域の皆さまの温かいご支援、ご協力をお願いします。